

かい ぎ ろく  
会 議 録

<p>かいぎ めいしょう 会議の名称</p>	<p>へいせい ねんど だい かいこまきしたぶん かきょうせいきょうぎかい 平成23年度 第2回小牧市多文化共生協議会について</p>				
<p>かいさいにちじ 開催日時</p>	<p>へいせい ねん がつ にち きん 平成23年 10月 7日 (金)</p>				
<p>かいさいばしょ 開催場所</p>	<p>しやくしよほんちようしゃだい かいぎしつ 市役所本庁舎第7会議室</p>				
<p>しゅつせきしゃ およ 出席者 及  けつせきしゃ 欠席者</p>	<p>しゅつせきしゃ ○出席者 【委員】 小島委員、浅井委員、藤門委員、坪井委員、刈谷委員、榎野委員、佐々木委員、シルバ委員、李委員、伊藤委員、伊藤委員、板津委員  じむきょく 【事務局】 真野生活交流課長、落合生活交流課長補佐、村田交流係長、朝日主事 ○欠席者 舟橋委員、桑垣委員、ギエム委員</p>				
<p>ほうちよう かひ 傍聴の可否</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 否</p>	<p>ほうちようていいん 傍聴定員</p>	<p>5</p>	<p>ほうちようにんずう 傍聴人数</p>	<p>0</p>
<p>かいぎしだい 会議次第</p>	<p>1 かいかい 開会 2 あいさつ あいさつ 3 ない よう 内容 (1) スケジュールシート(テーマ: めざすこと①【防災】 ぼうさい およびめざすこと②【自治会】)についての意見等 およ じちかい いけんなど (2) こまきしたぶん かきょうせいすいしんいんかいおよ どうじつむたんとうしゃかいぎ 小牧市多文化共生推進委員会及び同実務担当者会議に ほうこく ついでの報告 4 そのた その他</p>				
<p>とਿਆわ さき 問合せ先</p>	<p>こまきしやくしよ しみんさんぎようぶ せいかつこうりゆうか こうりゆうがかり たんとう あさひ 小牧市役所 市民産業部 生活交流課 交流係 担当: 朝日</p>				
<p>かいぎないよう 会議内容</p>	<p>べっし さんしやう 別紙1参照</p>				

かい 会	ぎ 議	ない 内	よう 容
<p><b>1 スケジュールシート(テーマ:めざすこと①【防災】及びめざすこと②【自治会】)についての意見等</b></p>			
<p>(事務局資料に基づき説明)</p>			
<p>“スケジュールシート”について、少し改善した。ご意見や質問を伺いたい。</p>			
<p>(委員長)何か意見や質問はありますか。</p>			
<p>(委員A) 中身についてはなにも変わっていないが、それぞれの項目で、同じような周知や広報に関するスケジュールがページに分かれてたくさんあるが、なぜか？また、最初から100パーセントを指すよりも手のつけられるところから行っていくことが必要ではないか。</p>			
<p>(事務局)これは「多文化共生推進プラン」に書いてある順を基本にして、それぞれの担当課等で実際におこなうためのそれぞれのスケジュールになっていますので、このような形にさせていただいています。</p>			
<p>(委員長)プラン冊子の見方の説明。“めざすこと”それぞれについてのスケジュールがスケジュールシートに書いてある。</p>			
<p>(委員A)めざすこと①をまず検討するのか？</p>			
<p>(委員長)そういうことになる。</p>			
<p>(委員B)防災について、市に尋ねたいが、なぜ外国人向けの防災訓練をやらないのか。</p>			
<p>(事務局)国際交流協会の方で防災訓練まではいかないが消火訓練などを</p>			

も盛り込んだ防災のイベントをおこなっている。今年の市の防災訓練についても、区長さんに声をかけていただいて、外国人の方にもご参加いただいた。

(委員B) 防災訓練には、役員しか参加しないのでは？

(事務局) 役員以外も来ているはず。中学校区ごとで行っている。

(委員B) 他の区の外国人も参加できるようにできないか？

(事務局) 担当に伝えておく。

(委員A) ホームページを活用というスケジュールがいくつかある。

避難所マップ等、日本人ですら見ないホームページを、外国人は見るか？

机上の空論では？

(事務局) 避難所マップは、既に紙ベースでできているものがありますのでそれ以外の取り組みという意味で、ホームページについてのスケジュールを作っている。ホームページが多言語化されていないので、今後考えていく。マップについて、周知はまだまだ必要だと思われる。

(委員長) 他の意見をうかがいます。

(委員C) チラシやホームページでしか情報がいきわたらないので、講座を開いたりするのがいいと思う。町内くらいの規模で、なおかつ休みの少ない外国人が参加できる時間などを考慮した方法を考えてほしい。

(委員長) どんな講座がよいと思いますか。

(委員C) 楽しみがないと外国人は参加しないので、「防災訓練」と「日本食

を「楽しむ」などを組みあわせとか、逆に外国ではどのようなことを行っているのか学ぶのもよいと思う。

(委員D) 学校や幼稚園などのように、携帯へのメール配信等（不審者情報や学校のイベントなど）はやはり難しいか。

(事務局) 非常時のメール配信については消防の防災担当で研究しているところですが、「やさしい日本語」での災害情報メールが送れるように検討しているとのこと。

(委員D) 防災の情報だけではなく、ほかのイベント情報やごみ分別などについてはメール配信できないか。

(事務局) 時間がかかるかもしれないが、検討します。

(委員E) 他都市に住んでいるとき、年2回の外国人を集めた交流会で、いろいろなこと（ごみ分別など）について早押しクイズなどで学ぶイベント等があった。

(委員B) 食事以外で誘う方法があれば教えていただきたい。

(委員F) 国際交流協会では、日本語教室などを通して直接誘っている。

会員以外に対してはホームページを通じて周知。ホームページや広報を読む習慣のない方々に対しては、本当に情報が届けようがないのは悲しい。

(委員長) 国際交流協会の活動のなかで、区長さんたちの活動を紹介するなどもしていただくとよいですね。

(委員F) ポスティングや日本語教室などでもアピールしていきたい。

(委員長) 他に何か意見や質問はありますか。

(委員G) 会社の掲示板に情報を貼るなどは可能です。

(委員H) 非常時には、チームリーダーが中心となって連絡網で伝えてい

る。日本人も情報のチラシなどは読まない。防災についても興味がなく、

漢字が多くて難しいから読まない。出前講座などを行ったことがある

が、興味があるのは税金のことなど。本人が聞きたがることと聞きたが

らないことを、一緒にして行うとよい。テーマをしぼらず、よろず相談

という形もよい。外国人への偏見を感じさせないやり方を考えるべき。

会社は、信頼関係もあるので、何か悩みや困ったことがないか積極的に聞

く姿勢でいる。

(委員I) 私自身小牧市のホームページを毎日見るが、「いざというときに」

のページを開いたことはない。ホームページは目的があって開いてみる

ものだから、その効力を過大評価はしないほうがよい。また、この

スケジュールシートについてだが、実施した結果がほとんど書いていな

い。これは計画段階ということか。実施内容を早急に実施して、現状を

書いていただきたい。

(事務局) 準備段階や計画段階のものもありますが、ただいまの意見を

庁内の実務担当者に伝えて状況や結果を記入して最新の内容にできる

ように伝えます。

(委員 I) 10P、保健センターの計画書について、現状部分や計画部分が他と比べておかしいので、きちんと直していただきたい。

(事務局) 訂正します。

(委員 A) 5年で計画を完成させるとのことだが、実施のほうに踏み出さないということか。やれることから始めていくことが大事だと思う。

災害弱者への手厚いケアをということだが、まずやってみる姿勢が必要である。

(委員 H) 3P、実施を毎月やるということか。スケジュールシートの計画が全般にアバウト過ぎないか。フォームをもう少し細かくする必要がある。

4月から実施したものがあるなら、その結果と課題を記入する欄などを、付け加えるべき。たとえば、3ヶ月ごとのレビューを書き込む欄など。

たとえば2Pも、いつ更新したのか判るようにするべき。少なくとも2

3年度の計画は細かく書きこみ、さらに中間報告を書き込んでいただく

ようにご指示いただくよう検討いただきたい。

(委員 I) 現在の計画をスタートさせていただいて、PDCAを回して欲しい。

(委員長) 事務局は、スケジュールシートの型式を改善願います。

(委員 B) 市内の在住外国人は、各自の避難場所を知っているか。どのよう

に周知していくか考えがあるか。

(事務局) プランに基づき計画を5年で完成させるのではなく、順次実施

していくということである。また、多言語マップに避難所は書いてある。

転入者に配布している。

(委員B) 市のほうできちんと整えて欲しい。

(委員長) こまき調査でも外国人の意見をうかがった。さまざまな不安が

あるという結果だった。めざすこと①には、それらの意見への対応策が盛

り込んである。津波の情報がなぜテレビ等で流れるのか、震災後にやっ

とわかったという外国人もいた。

(委員長) めざすこと②についてのスケジュールシートについて、何か

意見や質問はありますか。

(委員A) 日本人でも、町内行事には直接呼びかけることが必要。熱意が

なければ人は動かない。回覧だけでは、まったく人は集まらない。

(委員B) 23件の外国人世帯が町内にあるが、ゴミの問題が一番困る。

日本人のほうがマナーが悪い。ただしルールを守らない外国人が1名い

れば外国人全員同じだととられるのも現実としてある。

(委員長) 地域への対応のために、市内に協力体制はあるのか。

(委員F) 通訳ボランティアの登録はあるが、紹介はできるけれども通訳の

レベルの保障はできない。

(委員I) それぞれの地区の外国人リーダーの発掘などを試みていただきたい。

(委員F) 方法としてはあると思うので検討します。

(委員B) 毎週ボランティアによる日本語教室（子供向け）を自分の住む地区で行っている。大人も参加したらどうかと言ってみたが、参加しないようだった。

(委員長) 自治会の方々に努力いただいているようですが、何か意見ありますか。

(委員) 子ども会などで、確かに日本語がわからないふりをする外国人はいます。

(委員C) 外国人に求められるものが多くて無理がある。回覧板が回ってこないのに、集金には来る。交流は求めないのに、そのことだけはっきりしていると、そういうケースもある。

(委員D) 回覧板が、日本語なのでわからない。

(委員B) 大事なことだけは翻訳して回覧板をまわしている。

(事務局) すべてを翻訳していると大変なので、やさしい日本語を広めるよう考えております。

(委員B) 翻訳は無料か。

(事務局) 無料ですが、基本的に2週間の期間をいただいております。

(委員長) 学校現場等では1年間の流れがわかっているので、基本のフォーマットをつくって翻訳しておくことも可能だと思う。自治会でもご検討ください。

(委員H) 自治会に関して、外国人の加入率はどれくらいか。



(事務局) 外国人だけのものは把握していない。日本人も含め、全体としては83パーセントぐらいです。

(委員H) 外国人の加入率も把握するべき。現場で加入の説明等をする際にも、データがないと話がしにくい。また、自治会に入ることのメリットがわかりにくい。

(委員B) 我々の地域では規約にしたがっていただくと自動的に加入することになるので、今のところ問題は当区ではない。

(委員J) 警察でも、チラシなどはなかなか見ていただけないことが多い。外国人同士のネットワークを使うとか、多言語での情報発信を市役所から行っていただければ手っ取り早いと思う。携帯へのメール発信の仕組みを検討するとよい。

(委員長) 小牧市が加入している外国人集住都市会議での情報は、何かありますか。

(事務局) 総社市への視察では、小牧市ほどの自治会への加入率はないが、外国人同士のネットワークが確立されていて、情報の伝達が早いとのことだった。震災後は互いに翻訳の協力をメールで行ったり、災害協定についても今後詳細を検討していく予定とのこと。

(委員長) 他に質問等なければ、次へ進みます。

## 2 小牧市多文化共生推進委員会及び同実務担当者会議についての報告

(委員長) 事務局に説明を求めます。

じむきょく ぜんかい たぶんかきょうせいきょうぎかい いけん じつむたんとうしゃかいぎ  
(事務局) 前回の多文化共生協議会でのご意見を、実務担当者会議で

ほうこく すけじゅーるしーと はんえい  
報告した。スケジュールシートに反映してもらった。

いいんちょう ごいけん しつもん た すず  
(委員長) ご意見やご質問はありますか。ないようなので、その他へ進みます。

### 3 その他

じむきょく こんかい かいぎ ないよう つぎ じつむたんとうしゃかいぎ ほうこく  
(事務局) 今回の会議の内容を、次の実務担当者会議で報告させていただきます。

じかい かいさい へいせい ねん がつ にち すい ほんちょう かいだい  
次回開催は平成23年11月30日(水)18:30～本庁3階第

かいぎしつ よてい へんこう れんらく  
7会議室を予定しています。変更があればまたご連絡いたします。